

現代日本における社会問題の分析

田中重人 (東北大学文学部准教授)

3年生・大学院生対象：2020年度 1学期 <木2> Google Classroom クラスコード **g42ap45**

1 『講義概要』 記載情報 (一部)

- ◆ 到達目標: 社会問題を分析するための基本的なスキルを習得する。
- ◆ 目的・概要: 家族制度・人口変動・社会政策を中心として、近代以降の日本における社会問題の変遷を学ぶ。受講者各自の関心にしたがって文献調査を行い、途中経過の報告と討論を行いながら日本近代史に関するレポートを作成する。
- ◇ 参考書: 佐藤望ほか (2012) 『アカデミック・スキルズ: 大学生のための知的技法入門』 (第2版) 慶應義塾大学出版会。
- ◇ 成績評価方法: 授業中の課題 (30%)、途中経過等報告と討論での発言 (30%)、期末レポート (40%)

2 この授業の目標

- 知的生産の技術
- 論文に書く内容を決めるまでのプロセス
- 意味のある問いと根拠のある答え
- メディア、他人、自分自身の利用方法
- 批判することの重要性

3 授業予定

- (1) イントロダクション [4/23-30]
- (2) 論文について発表 [5/7-14]
- (3) 第1講 文献検索とデータベース利用 [5/21]
- (4) 第2講 資料の評価と活用 [5/28 - 6/4]
- (5) 第3講 専門用語と理論体系 [6/11-18]
- (6) 第4講 アイディアの創出 [6/25]
- (7) 第5講 議論を組み立てる [7/2]
- (8) 第6講 プロジェクトとしての近代史研究 [7/9]
- (9) 第7講 研究の倫理 [7/16]
- (10) 発表会 [7/30]
- (11) 講評とまとめ [8/6]

※ 受講人数などの都合で授業計画を変更する可能性があります。

4 注意事項

- 授業は Google Classroom で行う予定です (クラスコードは g42ap45 です)。もし使えない場合には、教員まで連絡してください。
- 授業時間外に、個別面談やグループ活動をおこなうことがあります (その場合、受講者の都合にあわせて日時を設定)。

5 受講フォーム記入

- 自分の問題関心
- 日頃使っている学習、研究、資料整理、スケジュール管理の方法

6 レポートのフォーマット

この授業では、長い文章を書くことは要求しない。期末レポートでは、つぎのような形式で、必要な情報を短くまとめること(通常、A4用紙2枚以内)

- 問い
 - その背後にある大きな問い
 - 問いの学問的背景
 - 問いの社会的意義
- 答え
 - 必要な予備知識と前提
 - 答えの根拠
 - ありうる批判とそれをクリアする方法
- 問いを発展させる可能性
- 文献

7 宿題

自分の興味に合った論文を一つ選び、なぜその論文に興味をもったかを簡単に説明

- オンラインで読める論文であれば、そのURL (あるいはDOIなど) を書くだけでよい
- そうでない場合は、論文全体をスキャンしたもの (あるいは写真) も提出

来週(4/30)の授業で2-3人のグループを決め、5月7日以降の授業で論文の内容についての発表をおこなう。